

令和7年度第5回尾張旭市障害者地域自立支援連携会議（運営会議）会議録

1 開催日時

令和8年3月12日（木）

開会 午後1時30分

閉会 午後3時00分

2 開催場所

尾張旭市役所 201会議室

3 出席した構成員

相談支援部会長 松田 真希、こども部会長 谷口 亜弥、医療的ケア児等支援部会長 榎本 博文、精神障がい者支援部会長 村田 健郎（事務局兼務）、日中活動・就労部会長 古宮 志乃、尾張東部圏域地域アドバイザー 竹田 晴幸

4 欠席した構成員

なし

5 出席した事務局職員

地域福祉課長補佐兼障がい福祉係長 森下 亜希子、障がい福祉係副主幹 長江 奈緒子、障がい福祉係主査 村田 あゆみ、生活支援係長 大島 隆史、こども家庭課こどもの発達センター係長 吉永 智哉、障がい者基幹相談支援センター 川上 雅也、村田 健郎、五味 よう子、水野 旭、山田 涼子、鈴木 真紀子

6 議題

- (1) 専門部会の活動報告等について
- (2) 全体会議の報告について
- (3) 令和6年度運営会議で挙げた課題について
- (4) ひきこもり支援について
- (5) その他

7 会議の要旨

地域福祉課長補佐兼障がい福祉係長 (以下、地域福祉課長補佐という)	只今より、第5回運営会議を開催します。 はじめに、議題(1)専門部会の活動報告について、相談支援部会より報告をお願いします。
松田委員	相談支援部会では、2月20日の部会で基幹相談支援センターから相談支援事業所を訪問した報告を受けました。その中で、相談支援専門員の役割の理解を深める必要性について意見が出たため、次年度の課題・取り組み事項の一つとしました。 また、18歳到達ケースにおける相談員引継ぎについて、早い時期からの引き継ぎをすることとしました。

地域福祉課長補佐	早い段階で引継ぐとは、具体的にいつ頃でしょうか。
松田委員	今までは12月に児から者の相談員へ引継いでいましたが、12月では遅いのではという声が上がったため、具体的な時期は未定ですが、早い時期から順次引継ぎ、その結果を検証していきたいと考えています。
地域福祉課長補佐	次に、こども部会の報告をお願いします。
谷口委員	こども部会では、一事業所で性に関する勉強会を実施するとともに「障がい児の性に関するトラブル」について、アンケートを実施しました。 意見を集約した結果、次年度性教育に関する取り組みを行っていくこととなりました。
地域福祉課長補佐	性の問題は難しい課題だと思いますが、他部会と一緒に取り組むということでも良いと思います。 では次に、医療的ケア児等支援部会の報告をお願いします。
障がい福祉係副主幹	医療的ケア児等支援部会では、3月2日に部会を実施し、次年度は事例検討を中心に取り組むこととしました。 また、市内医療的ケア児の情報共有ができていないという課題が挙げられたため、次年度から関係機関で情報共有会を実施する予定です。
榎本構成員	今後、これはネットの活用や、災害時のことなど全国的な課題等についても共有していくとよいと思います。 また、県の実態調査結果と尾張旭市の調査結果を比較し、市の課題を考えるのもよいと思います。
地域福祉課長補佐	次に、精神障がい者支援部会の報告をお願いします。
村田委員	精神障がい者支援部会では、今年度、普及啓発、医療機関との連携、精神障がい者の雇用促進の3本柱で取り組んできました。普及啓発の一つとしては、2月18日に市職員向け研修を実施し18人の参加がありました。研修では、講義と窓口対応のロールプレイを行い、ピアサポーターや家族会の方に御意見をいただきました。 また、2月25日の医療機関との連携として、お互いを知る勉強会を行い、意思決定支援の事例を用いてグループワークを実施しました。この勉強会は今回で3回目になりますが、今後も事例検討を行うかは、協議していきたいと思います。
地域福祉課長補佐	市職員向け研修のアンケートでは、当事者の方の声が聞けて大変参考になったと好評でした。 市職員向け研修は、今後も行う予定がありますか。

村田委員	継続して行うことが大切なので、令和8年度も実施できたらと考えています。
地域福祉課長補佐	次に、日中活動・就労部会の報告をお願いします。
古宮委員	<p>日中活動・就労部会は、今までは自主的な会であったのが、今年度から部会として公的な会として活動しました。</p> <p>今年の事業所説明会には、車いすユーザーの方が多く参加されました。車いすユーザーの方をソフト面で支援するのか等支援方法について、今後も協議していきたいと思います。</p> <p>また、4月から市内に就労継続支援B型事業所が2か所開所します。就労継続支援が増える中、重心や医療的ケア、車いすユーザーの方の受入れ先をどうするか、考えていく必要があると思います。</p>
地域福祉課長補佐	<p>各部会の報告をしていただき、ありがとうございました。</p> <p>全体を通して、何か御意見はありますか。</p>
榎本委員	<p>こども部会で、性の取り組みをすることになった経緯を教えてください。</p> <p>また、学校との連携についてはどのように考えていますか。</p>
谷口委員	<p>こども部会構成員にアンケートを実施した結果、事業所間で差はあるもののトラブルを抱えていることが分かったため、今回取り組むこととしました。しかし一方で、学校で十分実施できていない性教育を、福祉でやるべきではないのではないかの意見もありました。</p> <p>また、学校との連携については、保育所等訪問支援を行っている事業所は少しずつ連携が取れていますが、保育所等訪問支援を実施していない事業所はまだ不十分だと感じています。</p>
榎本委員	福祉は生活に直結しているものです。生活の中で性のことを伝えていくことは、重要なことだと思います。
谷口委員	<p>プレコンセプションケア、つまり性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠出産を含め、将来を踏まえた健康管理を行うことが、昨今話題となっています。</p> <p>自分の事業所では、思春期・青年期・父母・障害者に限らず誰でも気軽に相談できる、ユースクリニックの開設準備を進めています。関係機関へつなぐ際に、ハブの役割を担えることができればと考えています。</p>
障がい福祉係副主幹	性の問題を考えるにあたり、こども家庭課との連携も必要になると思います。
榎本委員	精神障がい者支援部会で行った、市職員向け研修と医療機関

	との勉強会の内容について詳しく教えてください。
村田委員	<p>市職員向け研修は、窓口対応する職員に対し、精神障がい者への合理的配慮についての研修をしました。内容としては、精神障害を理解した上で、相手の話を聞ききることの大切さを伝えました。</p> <p>医療機関との勉強会では、意思決定支援について学びました。具体的には、他害行為があり措置入院をしたケースについて、どのような支援が必要かを考えていただきました。事情や生活背景が分かっていない状態で考えた支援と、分かった上で考えた支援を比べ、体感していただきました。同じケースを2回考えていただくことで、対象者の生活背景を知り、それに即した支援を考えることの大切さを学べたと思います。</p>
地域福祉課長補佐	<p>尾張旭市は、各部会でしっかり協議がされていると感じています。それが本市の強みであると思いますので、今後もよろしくお願いします。</p> <p>他に御意見はありますか。</p>
	(意見なし)
地域福祉課長補佐	<p>次に、議題(2)全体会議の報告をします。</p> <p>2月24日に全体会議を行い、専門部会の活動報告、障がい者計画、地域生活支援拠点の評価等について協議しました。</p> <p>また、運営会議で地域課題をリスト化して協議をしていることについても報告しました。</p> <p>今後も運営会議や全体会議で出た意見を基に、障がい者計画や施策へ反映する流れを続けていけたらと考えています。</p> <p>報告は以上ですが、何か御意見はありますか。</p>
	(意見なし)
地域福祉課長補佐	次に、議題(3)令和6年度運営会議で挙げた課題について、基幹相談支援センターより報告をお願いします。
基幹相談支援センター 水野	<p>今年度、運営会議で挙げた課題について、性の問題をはじめとして、各部会で取り組んでいただきました。</p> <p>性の問題については、障害児のみでなく障害者も含めて考える必要があるため、相談支援部会、日中活動・就労部会とも一緒に考えていく必要があると思います。</p> <p>また、ここで挙げられている課題の中には、単なる問題であって課題ではないものも含まれているため、改めて課題の整理をすることも必要だと感じました。</p>

古宮委員	<p>日中活動・就労部会では、性に関する課題について今のところ意見はありませんが、大人になった時のトラブルを挙げるとともに、子どものうちに対応できることは何か考えていきたいと思います。</p> <p>大人になってからでは、性をタブー視したりプライベートな問題もあるため、子どもの頃からの支援をつなげていくことが大切だと考えます。</p>
松田委員	<p>大人の場合、犯罪に直結するケースもあるので、未然に防げるよう支援ができるとよいと思います。</p>
榎本委員	<p>利用者自身の性のトラブルだけでなく、利用者が職員へセクハラをする事例もあります。調査する時は、誰向けに調査するのもよく考える必要があります。</p>
竹田委員	<p>12月に行われた日本障害者虐待福祉学会で、性虐待についての報告がありました。障害者は障害のない人に比べて6倍性被害にあいやすく、男女別では女性が多く、周囲に相談できないケースが多いとのことでした。</p> <p>また、12月25日に子ども性暴力防止法が施行されます。子どもを守るという視点で作られた法律です。性虐待や性犯罪の9割は初犯であり、不適切な関係が犯罪につながるとのことでした。事業所内での同性介助など、事前に環境整備をすることが大切だと考えます。</p>
基幹相談支援センター 川上	<p>尾張旭市は、日中支援型グループホームの評価をしていますか。支給決定は市町村で行っているのので、必要な指導はもっと厳しく行ってもよいのではと思います。</p>
谷口委員	<p>児童虐待の話ですが、親に虐待されていても、保護できる施設が全国的に定員一杯で、親元で生活してる子もあると聞きます。</p>
基幹相談支援センター 川上	<p>受ける先が足りていない問題は、私も数年前から聞いたことがあります。</p>
地域福祉課長補佐	<p>他に御意見はありませんか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
地域福祉課長補佐	<p>次に、議題(4)ひきこもり支援について協議します。 地域福祉課生活支援係より説明をお願いします。</p>
生活支援係長	<p>引きこもりの支援先が分かりにくいという御意見を受けて、6月の運営会議で説明をさせていただきました。 その際にいただいた意見を基に、今回アセスメントシートを</p>

	作成しました。今後このシートを活用し、関係機関と一緒に支援していきたいと思います。
地域福祉課長補佐	最近、ひきこもりの支援が多くなってきている印象ですが、例年どのくらいの方を支援していますか。
生活支援係長	6月は15名の方を支援をしていましたが、現在は16名を支援しています。
基幹相談支援センター 山田	ひきこもりに関する相談は、窓口での相談が多いですか。
生活支援係長	電話の問い合わせから、相談につながるケースが多いです。
基幹相談支援センター 水野	アセスメントシートの活用方法について、教えてください。
生活支援係長	他機関からの紹介された際などに、状況を整理するためのメモ代わりに使っていただけたらと考えています。
基幹相談支援センター 五味	6か所のひきこもり相談窓口が分かりにくいという意見を受けて、シートを作成されたと思いますが、このシートをどの支援者までどのように広げていく予定ですか。 また、この会議以外の支援者へはどのように周知していく予定ですか。
生活支援係長	特に決まりはありません。周知については、口コミで広がるとよいと思っています。6か所の相談窓口には共有したいと思いますが、限定的なものではなく、あくまでコミュニケーションツールとして使うことを想定しています。
榎本委員	基幹相談支援センターとしては、ひきこもりの方から相談を受けた時、どのように対応していますか。
基幹相談支援センター 五味	一旦話を聞いた上で、必要な窓口につないでいます。 このシートを、自立支援協議会のメンバーに活用していただくよう伝えていってもよいでしょうか。
生活支援係長	お願いします。
榎本委員	チラシとアセスメントシートを両面刷りにして、周知するとより相談しやすいのではないかと思います。
基幹相談支援センター 川上	不登校とひきこもりは、密接な関係があります。今後もケースを積み上げ、他機関と連携して支援していただきたいと思っています。
村田委員	実際に、他機関を巻き込んで支援しているケースは何件ありますか。また、ケースの支援を振り返り、検証していますか。
生活支援係長	現在は、支援員がマンツーマンで支援しており、他機関と連

	携するまでの段階に至っていません。 なお、支援方法については、係内では常に協議しています。
地域福祉課長補佐	他に御意見はありますか。
	(意見なし)
地域福祉課長補佐	最後に、竹田アドバイザーより発言をお願いします。
竹田委員	瀬戸保健所で開催された精神保健福祉会議で、精神障がい者支援部会で行った市職員向け研修について報告したところ、先駆的な取り組みとの評価をいただきました。 また、3月4日に自立支援協議会の活性化に関する研修が名古屋市で開催され、3市町の好事例の発表やグループワークが行われました。この場で、出席した方に感想を聞きたいと思います。
基幹相談支援センター 山田	自治体によって、協議会の運営が上手くできている所、そうでない所の差がとても大きいことが分かりました。
障がい福祉係副主幹	好事例の中で報告のあった、地域課題に対するPDCAサイクルの表や専門部会の成果を見える化した一覧表は、本市でも取り入れるとよいと思いました。 また、行政と基幹相談支援センターが、仲良くぞっくばらんに話し合うことが大切という言葉が印象に残りました。
村田委員	県の協議会と市の協議会の連携について、連携ができている実感があまりないのですが、いかがでしょうか。
竹田委員	その点は、まさに課題となっている点です。
基幹相談支援センター 川上	地域アドバイザーが県に市の協議会の状況を報告し、市が報告したデータを県が集約しています。 連携が目に見えにくいかもかもしれませんが、市と県の協議会はつながっているといえます。
地域福祉課長補佐	他に御意見はありませんか。
基幹相談支援センター 水野	次回運営会議についてですが、次回は7月頃行う予定です。 日程等については、4月に改めて連絡します。
地域福祉課長補佐	他に御意見はありませんか。
	(意見なし)
地域福祉課長補佐	以上で運営会議を終了します。ありがとうございました。